



あんたなんか  
親友じゃない!

記事内容は執筆者個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

# スクールソーシャルワーカーだより

71

## 仲が良いほどケンカする

数年に一度、女子の友だちトラブルへの相談があります。小学校低学年では頻繁に「〇〇ちゃんとは遊ばない!」と言ってトラブルになる事があります。ふつうは自然に仲直りするのですが、それが高学年になり、仲良しグループを作り始めると様子が変わります。

たとえば、「〇〇ちゃんとケンカしたから、一緒に無視して!」と言われてトラブルになるし、「可哀そう」と言う子が居ると、「信じられない!もう親友じゃない!!」となって、心優しい子が学校を休む事があるような、いじめに発展してしまっただけです。

☆

これは、相手と自分は親しい間柄だと思っているほど陥りがちな錯覚です。

相談を受けたケースのどれにも、この「友だちだから自分と同じ気持ちでいてくれるはず」との思い込みがありました。ところが期待通りに相手が動かないと「裏切られた」と感じ、それが相手への怒りにエスカレートして、言葉や行動での攻撃になったようです。

★

昔は、近所中の、歳の差がある子たちもみんな一緒に遊んでいました。それが、ほとんどの子が保育所経験を持ち、中学入学までずっと家族と、同じ年齢の子たちとだけで過ごす、そんな子が多くなりました。それも友だち関係を濃くする要因かも知れません。

いつも同じメンバーで居ると自然に、自分の

考えを周りに押しつける子と、これにきちんと対応できる子と、受け身の子が生じます。

さらにこの関係をSNSが複雑にし、その結果『仲間はずし』がエスカレートさせているように感じます。

☆☆

人は、秘密を共有することで互いの結束を強くするようです。中高生は、新しい言葉まで造り出し、必要以上に秘密を作るようです。

そのような年頃ですから親は、子どもがしている事、考えている事がますます分からなくなるのではないのでしょうか。

分かり合えるのは友だちだけ、と思い込んでいる相手に、「気持ちは分かる」と言っても、不信感をつのらせるのは仕方のない事でしょう。そのように理解が難しい年頃ですから、気になる事があったら是非、専門家に相談して下さい。

☆☆☆

さらに困った事にこの年頃は、好きな人の言葉は、良い事も、悪い事も心に届いてしまいます。たとえ相手が年齢を偽るようなよこしまな考えを持つ、SNS上の『友だち』の言葉でも。

低学年の頃から、自分の考えをはっきり表明する事と、自分と他人とは考えも、感じることも違う事を言い聞かせ続けて下さい。

